【清水エスパルス】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
猪越 優惟、高木 践、郡司 璃来

2024 年 7 月 20 日（土）、IAI スタジアム日本平で、猪越 優惟 選手、高木 践 選手、郡司璃来 選手が、ファン感謝祭運営サポートの、クラブ運営サポート活動を行いました。

・関連部署：広報部、ホームタウン事業部、ファンマネジメント部

・活動内容、目的
ファン感謝祭の企画、運営のサポート、振り返りを実施しました。ファン感謝祭を成功させるために、各部署の方がどのように企画をして、運営しているかを、最初の会議から参加させてもらい、一緒に進めていきました。多くの方と関りを持ち、協力し、一つのイベントを完結させる事が出来たと思います。
＜担当者から出た課題と成果＞
課題　会議内でもっと積極的な発言、意見交換が出来れば更に良かったとの事でした。
　　会議を重ねるごとに、発言、意見は増えていたが、自発的なものが欲しかった。
成果　ファン感謝祭がどのように企画され、運営しているかを選手が近くで学んで、当日、先頭に立ってファン感謝祭をリードしてくれたこと。

◎選手のコメント
猪越 優惟 選手
1つのイベントを行うにあたって、多くの人が関わっており、問題点、課題を無くす努力をしていることを感じることが出来た。この経験を踏まえ、色んな事に感謝の心を持ってプレーしていきたい。

高木 践 選手
サポーターと選手がそれぞれ楽しく実施できたので良かったと思います。ファン、サポーターと選手が一体感を持つことで、より一層良いクラブになると思うし、応援してもらえるようになると思った。

郡司 璃来 選手
今年のチームスローガンである ONE FAMILY を、ファン感謝祭を通して実感することが出来ました。

写真提供／清水エスパルス

飛翔
山原怜音

TOMOEGAWA

【清水エスパルス】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
高木　践、猪越　優惟、郡司　璃来

2024 年 10 月 14 日（月）、三保松原で、高木　践　選手、猪越　優惟　選手、郡司　璃来　選手が、三保松原保全イベントのシャレン！活動を行いました。

① 地域・社会課題：
三保松原の魅力や保全活動が大切な事を伝える。三保地域住民を自然災害から守るためにも三保松原の保全が必要。世界文化遺産を守る。

② 協働者：静岡市/株式会社故紙センタートヨタ/三保松原保全研究所/清水エスパルス

③活動概要や内容、目的
エスパルスは、世界文化遺産の構成資産に登録されている三保松原がある三保地域にクラブハウスがあり、練習など活動の拠点としています。今回の松葉かきの目的は、松が、松葉がたまって土地が豊かになると、今度は他の木の森林に移り変わってしまう恐れがあり、そうならないよう松葉かきが必要となります。また、三保松原は、三保地域にお住いの方を自然災害から守るうえで大きな役割も担っています。三保で活動しているエスパルスが、松葉かきを行い地域貢献し、世界遺産をピーアールしていく目的で今回の活動を行いました。

◎選手のコメント
高木　践　選手
天気にも恵まれ参加者の皆さんと楽しく清掃出来ました。自分たちが普段練習している三保を清掃活動することで、少しでも地域貢献が出来て良かったです。また、一緒に参加して頂いたファン、サポーターから温かい声をかけていただいたので、試合で恩返しをしていきたいと思いました。

猪越　優惟　選手
ファン、サポーターの皆さんに温かく迎えていただき、とても楽しく内容の濃い時間になりました。クラブと地域のつながりは元々感じていましたが、改めてエスパルスのファン、サポーターは温かく、たくさん声をかけていただき自分としても大きな力をもらいました。このような活動に参加することは、物凄く大事なことだと感じました。

郡司　璃来　選手
ファン、サポーターの皆さんと楽しく三保松原清掃ができたと思います。たくさんの人から応援の

声をいただき、多くの人から応援して頂いていることを改めて感じました。これからもクラブハウスがある三保を守り、三保の良さを発信していければと思いました。

写真提供／清水エスパルス